

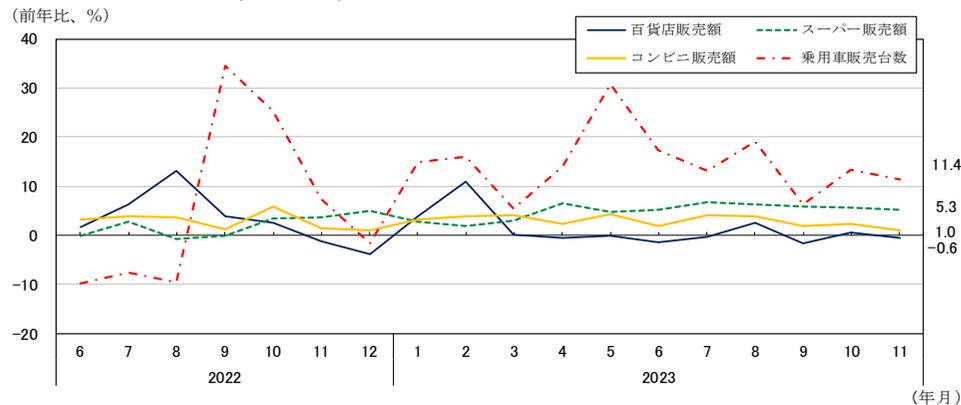
《最近の県内経済》 (2023年11月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。

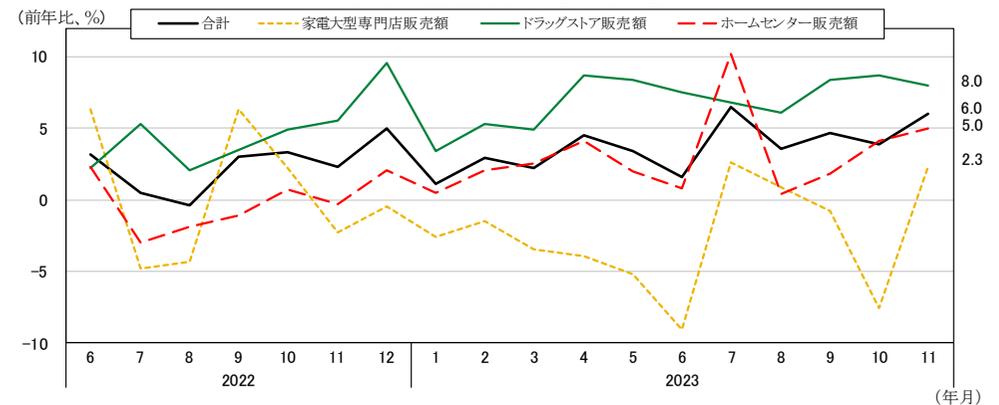
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

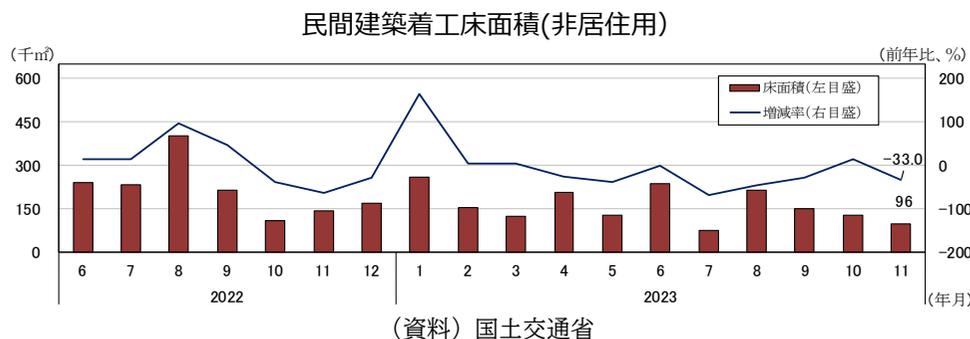
11月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は144億円で前年比0.6%減（2か月ぶりの減少）、スーパーは1,029億円で同5.3%増（14か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は550億円で同1.0%増と25か月連続の増加となった。商品値上げの影響は受けているものの、中旬からの気温低下に伴い冬物商材が売上に寄与した。

また、乗用車販売は、前年比11.4%増と11か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同比1.3%減と3か月連続の減少、軽乗用車が同比0.4%減と7か月ぶりの減少となったものの、普通車が同比32.0%増と11か月連続の増加となった。

11月の専門量販店販売額は、757億円で前年比6.0%増と15か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が166億円で同2.3%増（3か月ぶりの増加）、ドラッグストアが413億円で同8.0%増（18か月連続の増加）、ホームセンターが179億円で同5.0%増（12か月連続の増加）といずれも増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、10月〈36.7〉、11月〈36.6〉、12月〈38.0〉と推移している。

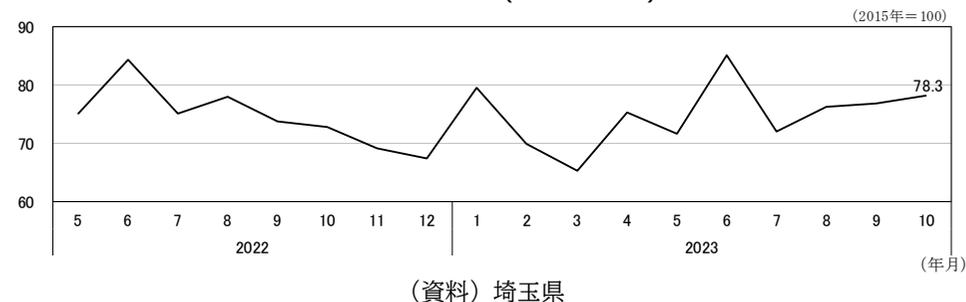
## 2 設備投資 ~持ち直している



11月の民間建築着工床面積(非居住用)は、96千㎡で前年比33.0%減と2か月ぶりの減少となった。(5か月後方移動平均でも前年比39.8%減)

用途別にみると、店舗、学校の校舎、病院・診療所は増加したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫はいずれも減少した。

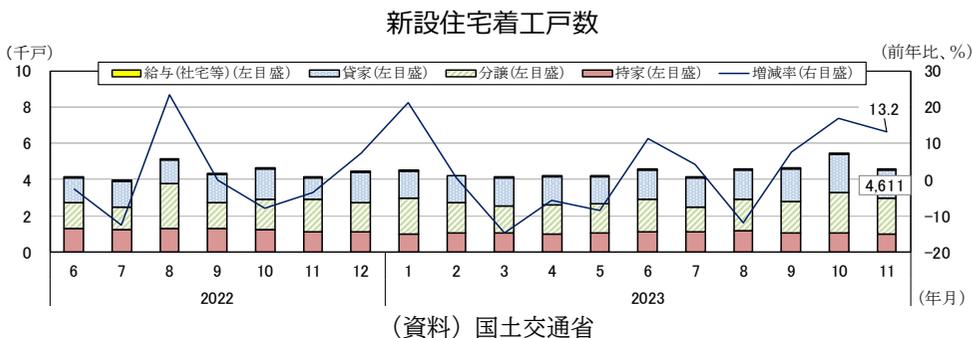
## 資本財出荷指数(季節調整済)



10月の資本財出荷指数(季節調整済)は78.3で、前月比1.8%増と3か月連続の増加となった(5か月後方移動平均でも、前年比1.3%増)。

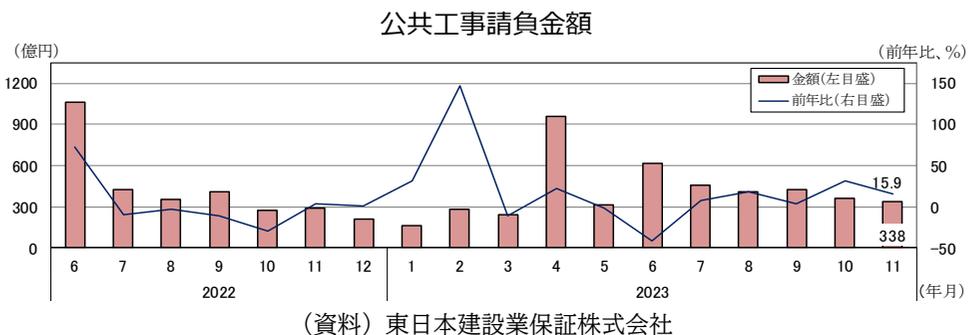
当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+8.8%)。

## 3 住宅建設 ~一進一退



11月の新設住宅着工戸数は、4,611戸で前年比13.2%増と3か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では5.4%増)。利用関係別にみると、持家(985戸)が同12.4%減となったものの、貸家(1,572戸)が37.2%増、分譲マンション(624戸)が24.8%増、分譲一戸建て(1,351戸)が4.2%増といずれも増加した。

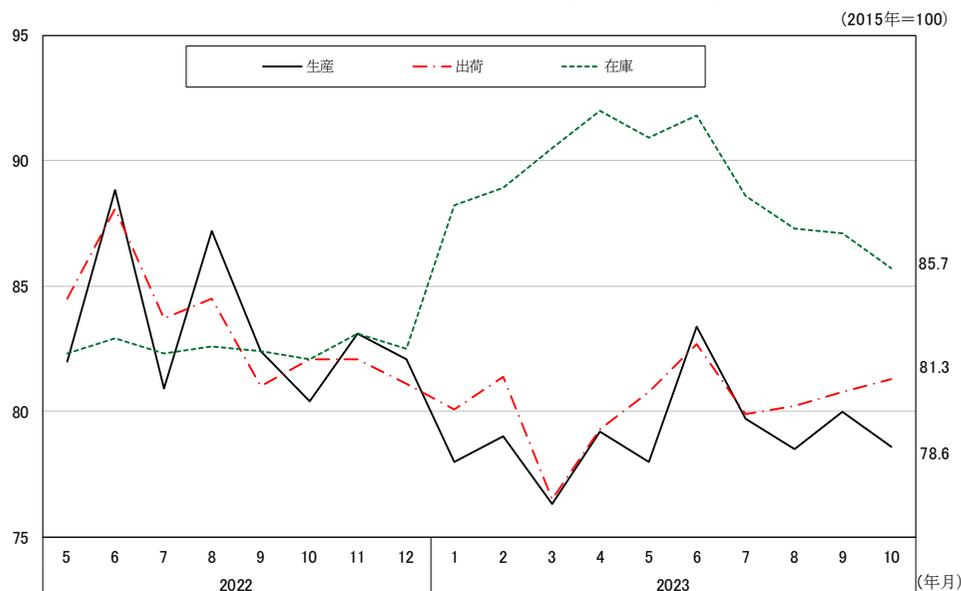
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



11月の公共工事請負額は338億円、前年比15.9%増となった(5か月連続の増加)。5か月後方移動平均でも前年比13.9%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、都道府県は減少したものの、独立行政法人等、市区町村、地方公社はいずれも増加した。

## 5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



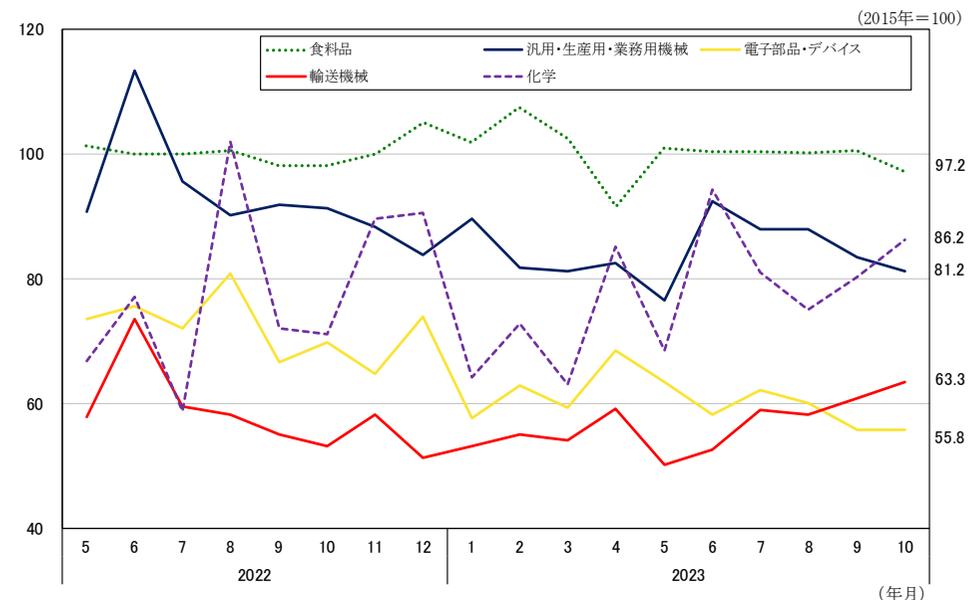
(資料) 埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、78.6で前月比1.8%低下した(2か月ぶりの低下)。化学(医薬品、ウレタンフォーム)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇したが、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック板)、食料品(炭酸飲料、めん類)などが低下した。

出荷指数(同)は、81.3で同0.6%上昇(3か月連続の上昇)。食料品(炭酸飲料、めん類)、情報通信機械(カーナビゲーション、ガス警報器)などが低下したが、輸送機械(乗用車、普通トラック)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製フィルム)などが上昇した。

在庫指数(同)は、85.7で同1.6%低下した(4か月連続の低下)。電子部品・デバイス(混成集積回路、光電変換素子)、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)などが上昇したが、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製建材)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下した。

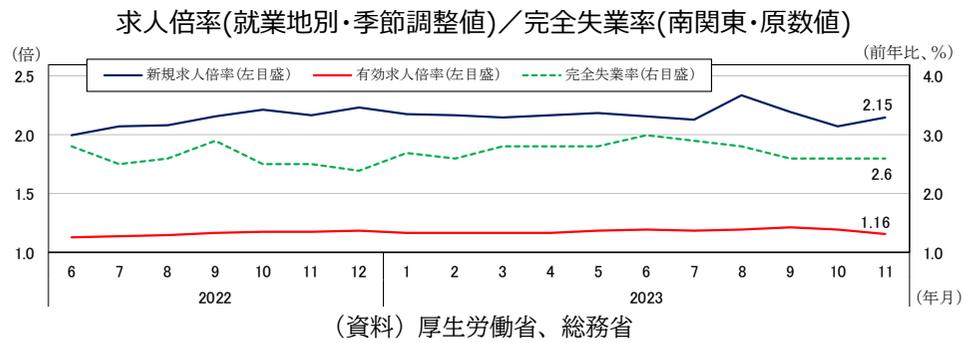
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

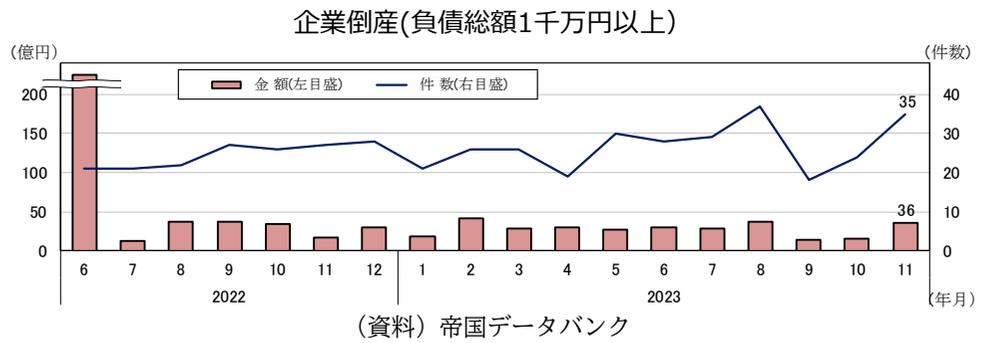
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、97.2で前月比3.4%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、81.2で同2.6%低下、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、55.8で同横ばいとなった。
- ◆ 輸送機械(同)は、63.3で同4.3%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、86.2で同7.1%上昇し、2か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



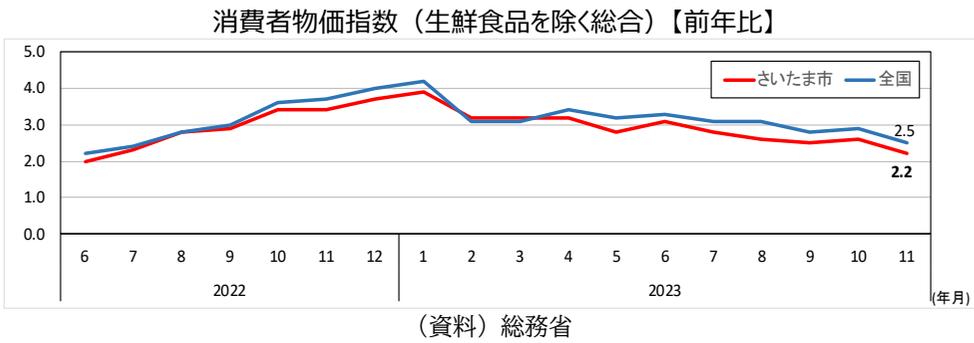
11月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.04%低下した(2か月連続の低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.15倍で前月比0.08%上昇した(3か月ぶりの上昇)。  
完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.1%上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

## 7 企業倒産 ~増加傾向にある



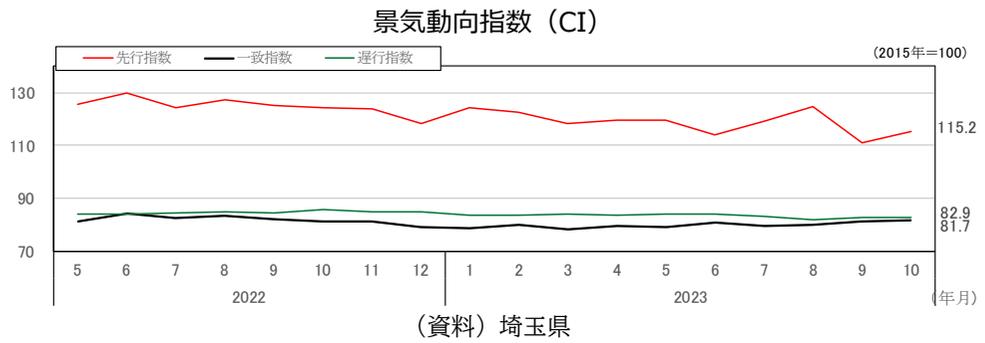
11月の企業倒産件数は35件で前年同月比8件の増加、負債総額は36億円で同比19億円の増加となった。(5か月移動平均では、件数が前年比4件の増加、負債総額は同比2億円の減少)  
業種別にみると、建設業が最多で10件。次いで小売業が7件、サービス業5件、製造業が4件と続いている。主因別では、販売不振が29件となっている。

## 8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



11月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.7で前年同月比2.2%上昇した。光熱・水道(電気代)は下落したものの、食料(調理食品など)や教養娯楽(宿泊費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~改善を示している



- 10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、81.7で前月比0.5%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、115.2で同4.13%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、82.9で同0.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。